



QR Evidencer

QRエビデンサー ver 2.0 2025.12.5

ユーザーガイド

本ソフトウェアにつきまして

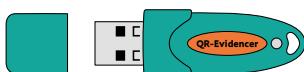
QR Evidencer は、PDFに配置されたQRコードの情報を読み取り、URLとリンク先のサイトのスクリーンショットを一覧にした検査レポート（PDF）を書き出すソフトウェアです。

01

インストールと起動について

USB ドングルについて

1ライセンスご購入につき、USB ドングルを1本お送りしています。ご確認下さい。

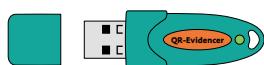


USB ドングル

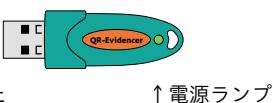
インストールについて

QR Evidencer は、PC にインストールして使用するネイティブアプリです。インストーラーを配布しておりますので、ご利用になりたいPCにインストールして下さい。

ソフトウェアの起動



↑ふた



↑電源ランプ



QR Evidencer

- 1 USB ドングルのふたを取るとUSB接続端子がありますので、お使いのパソコンのUSBポートに差し込み、電源ランプが緑に点灯したことをご確認下さい。

- 2 QR Evidencerアイコンをダブルクリックすると、起動することができます。



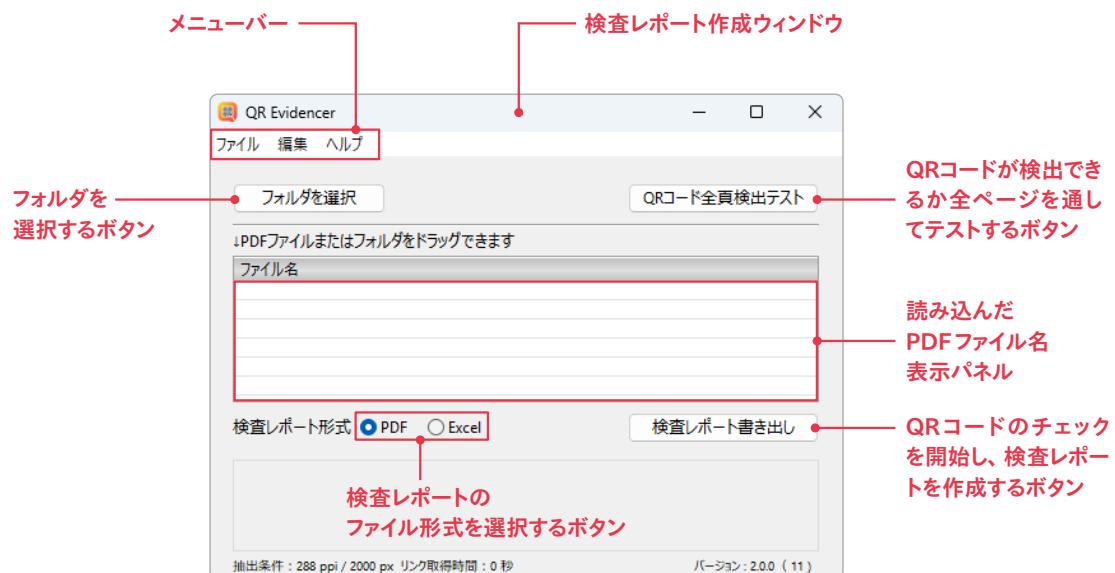
お使いになりたいパソコンにUSB ドングルが接続されていないと、QR Evidencerを起動することはできません。

02

操作画面の説明

基本の操作画面

QR Evidencerのアイコンをダブルクリックして起動すると、以下の【検査レポート作成ウィンドウ】が表示されます。



この【検査レポート作成ウィンドウ】に検査したいQRコードを含むPDFを読み込み、【検査レポート書き出し】ボタンを押して、検査レポートを作成します。複数のPDFを読み込み、一度の操作で検査レポートを作成することも可能です。

環境設定の操作画面

[環境設定] では各種設定とQRコード検出のための事前テストが行えます。



①ファイルとサイズ

取り込んだPDFのファイル名とサイズを表示。

②取り込み解像度

PDFの取り込み解像度を変更。

③QRコード検出グリット

QRコードを検出するためのグリット(マス目)の1マスサイズを設定。

④グリット全体

QRコードを検出するグリット(マス目)の全体と1マスを表示・非表示。

⑤検出枠

QRコードを検出するグリット(マス目)のみを表示・非表示。

⑥検出したQRコード

検出に成功したQRコードを、赤くマーキングした状態で⑩プレビューに表示・非表示。

⑦更新

②取り込み解像度あるいは③QRコード検出グリットに変更を加えたら、ここを押して⑩プレビューを再度読み込む。

⑧リンク取得時間を設定する

検査レポート作成時、「サイトイメージ」取得に待機する時間を設定(チェックがない場合は0秒)。サイトイメージが取得できない場合に使用(P12参照)。

⑨検出テストPDF選択

テストしたいPDFを選択。

⑩プレビュー

取り込んだPDFを表示。ここにPDFをドラッグしてもPDFの取り込みが可能。

⑪設定

環境設定項目の変更を確定。

⑫キャンセル

環境設定項目の変更は設定はキャンセルされ、変更前の設定に戻る。



[設定] を押して変更した環境設定項目は、次回起動時にも反映されます。

03

基本の操作

ご利用の流れ

QR Evidencerのご利用は、以下の流れとなります。

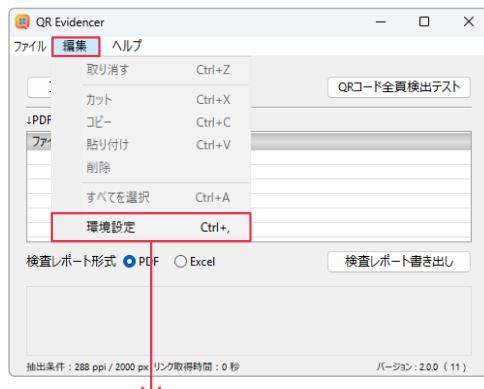
- ① [環境設定] でQRコード検出の事前テストをする
- ② [検査レポート作成ウィンドウ] にPDFを読み込む
- ③ [QRコード全頁検出テスト] で全ページの検出テストをする
- ④ 検査レポートを作成する



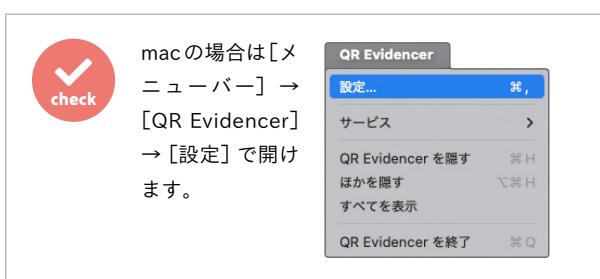
①で1ページ単位でQRコード抽出テストをし、③で全ページのQRコード検出テストをします。全ページのPDF検出テストはPDFのページ数によっては時間がかかるため、上記フローでの作業をおすすめしています。

[環境設定] でQRコード検出の事前テストをする

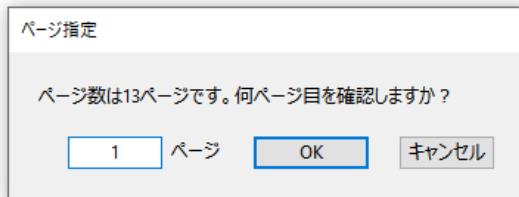
[環境設定] で、該当 PDF 内の QR コードが正しく読み込めるかどうかテストをします。ここでテストは1ページ単位です。



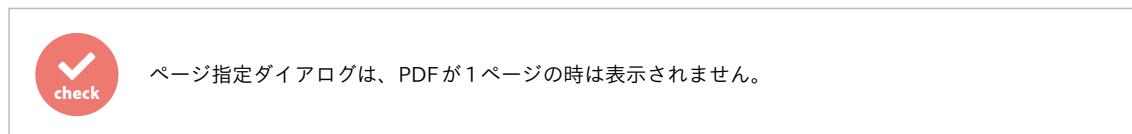
1 [検査レポート作成ウィンドウ] の [メニューバー] から [編集]-[環境設定] を開きます。



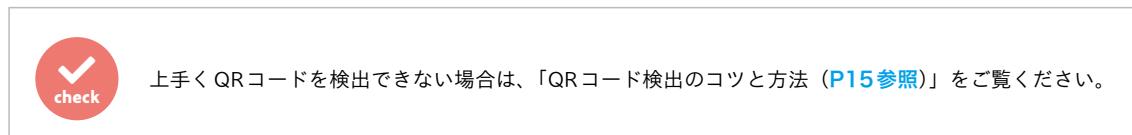
2 [環境設定] が開きます。[検出テスト PDF 選択] ボタンで PDF を選択するか、[プレビュー] に PDF ファイルをドラッグして読み込みます。



3 事前テストは1ページずつ行います。複数ページのPDFは、任意のPDFページ番号を入力し、[OK] を押します。

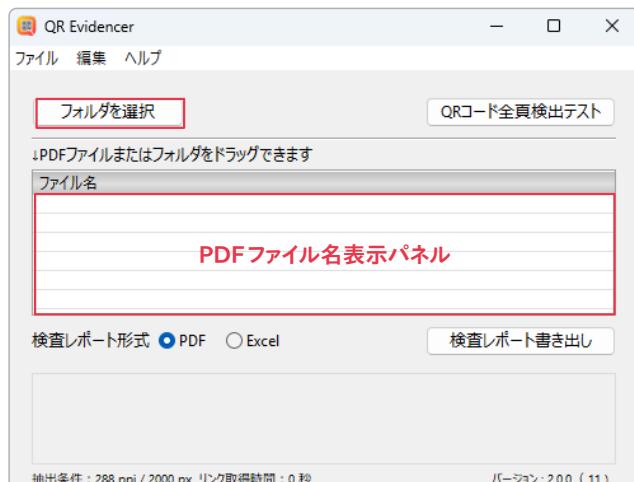


4 選択したPDFが読み込まれたら、[検出したQRコード]を[表示]にして[プレビュー]を確認します。検出に成功したQRコードは赤くマーキング表示されますので、検出に漏れがないかを確認しておきます。



[検査レポート作成ウィンドウ] にPDFを読み込む

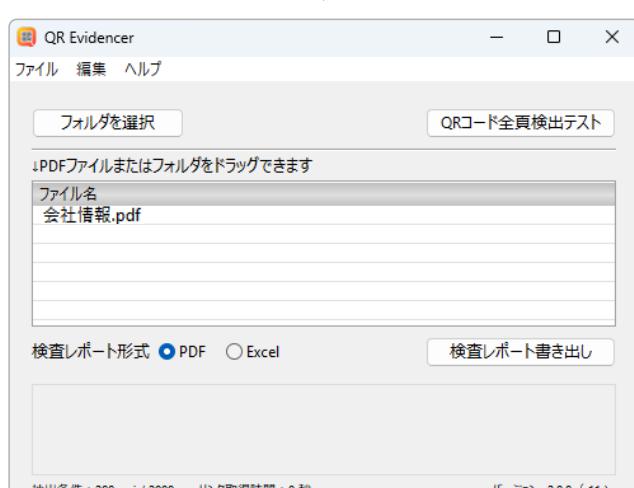
QRコード検出テストが終わったら、[検査レポート作成ウィンドウ] にPDFを読み込みます。



1 [検査レポート作成ウィンドウ] の [フォルダを選択] を押し PDF の入ったフォルダを選択、または [PDFファイル名表示パネル] に PDF または PDF の入ったフォルダをドラッグし、検査レポート対象の PDF を読み込みます。



同じ名前のファイルを重複して読み込むことはできません。

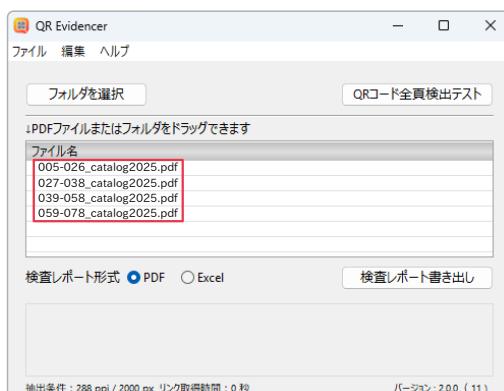


2 [PDFファイル名表示パネル] に該当の PDF が読み込まれます。

 複数の PDF を読み込み、検査レポートを書き出すことができます。

例えば、1冊のカタログデータが複数のPDFに分かれている場合で、全てのPDFのQRコードを調べたい場合などには左記のようにまとめて読み込むと便利です。

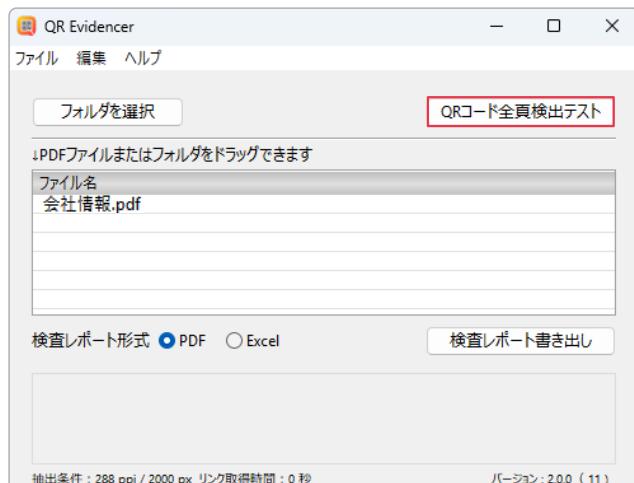
[QRコード全頁検出テスト] (P8参照) と Excel 形式の検査レポート (P13参照) は、複数の PDF をまとめて1ファイルにして表示および書き出しすることもでき、便利です。



The screenshot shows the application window again, but now the 'PDFファイル名表示パネル' panel lists four PDF files: '1005-026_catalog2025.pdf', '027-038_catalog2025.pdf', '039-058_catalog2025.pdf', and '059-078_catalog2025.pdf'. These files are highlighted with a red border, indicating they have been selected for processing.

[QRコード全頁検出テスト] で全ページの検出テストをする

PDFを読み込んだら、全ページのQRコードの検出テストをします。



1 検査レポート対象のPDFを読み込んだ状態で [QRコード全頁検出テスト] ボタンを押します。全ページ分のQRコードの抽出テストが始まります。



ページ数に応じた時間がかかります。

ページ移動

前へ 3 / 3 次へ 閉じる

表示カラー 赤



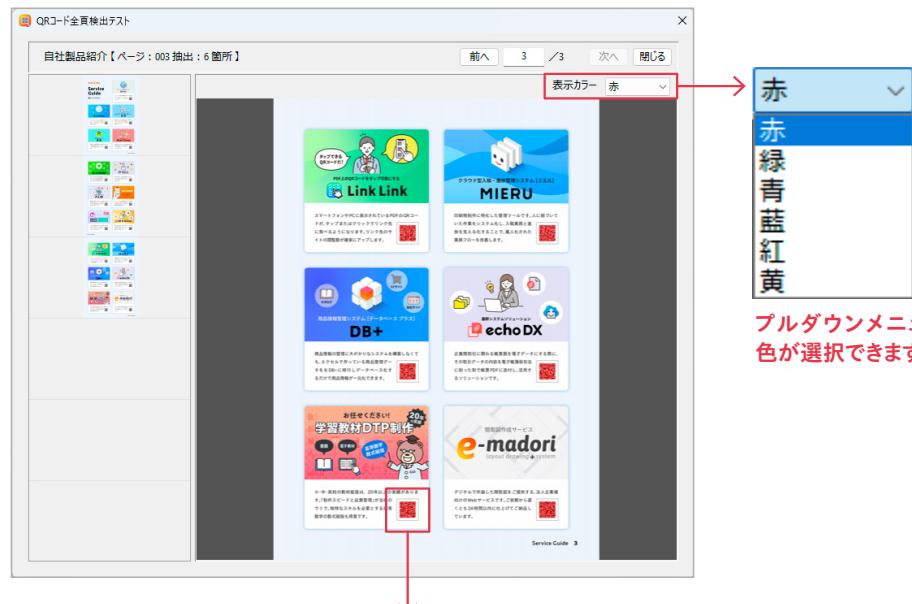
2 全ページのQRコードの検出テストが終わると [QRコード全頁検出テスト] 画面が開き、結果が表示されます。[ページのサムネール表示] で任意のページをクリックすると、右の [プレビュー] にそのページの検出結果が表示されます。マーキングされていないQRコードがないか、全ページを確認します。



PDFを複数読み込んでいる場合、全PDFの全てのページを [QRコード全頁検出テスト] 画面に表示します。



抽出できたQRコードの【表示カラー】は、マーキングを見やすい色に変更できます。



プルダウンメニューで
色が選択できます



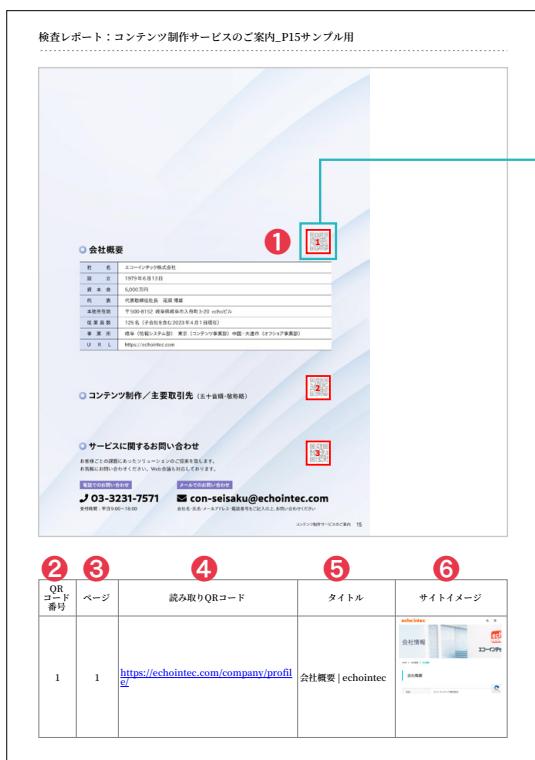
検査レポートを作成する

QRコードの検出テストが終わったら、検査レポートの書き出しをします。検査レポートの形式は、PDFとExcelの2種類があります。

PDFの検査レポートについて

抽出したQRコードに付番をし、「どのQRコード」に「何のURL」があるか？ URLのサイトイメージも配置し、視覚的にわかりやすい検査レポートを書き出すことができます。

検査レポート（PDF）の例



QRコードに番号がつく



①読み込みPDF表示

読み込んだPDFをページごとに表示。検出できたQRコードの番号は、下部のリスト②と合番。

②QRコード番号

QRコードの番号を表示。①と合番。

③ページ

読み込んだPDFのページ番号。

④読み取りQRコード

QRコードに記録されたURL情報を表示。青色のURLをクリックすると、リンク先へジャンプ。

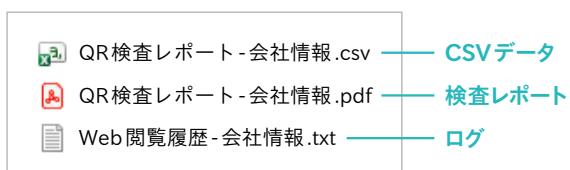
⑤タイトル

サイトのソースに記載されているタイトル。

⑥サイトイメージ

リンク先のトップ画面のサムネイル。

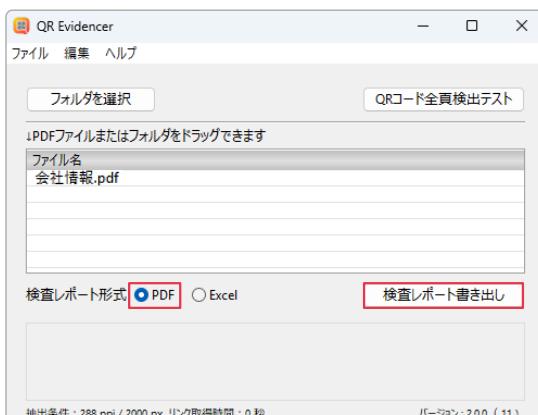
PDF形式で検査レポートを書き出すと、PDFの他にcsvファイル、テキストファイルも書き出します。



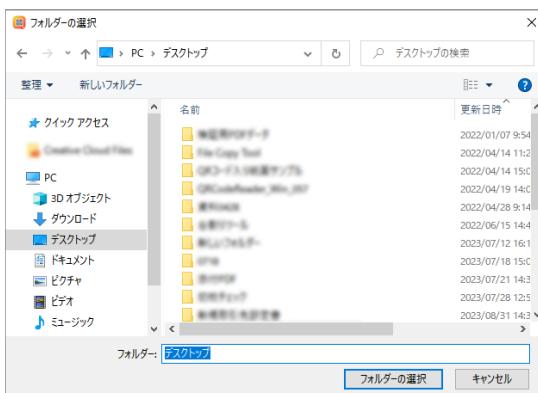
CSVデータは、QRコードを作成した時の原稿とQRコードから取得した情報との照合に使用すると便利です。

	A	B	C	D	E
1	1	15	1	https://echointec.com/company/profile/	会社概要 echointec
2	1	15	2	https://echointec.com/company/client/	主要取引先 echointec
3	1	15	3	https://echointec.com/contact/	お問い合わせ echointec

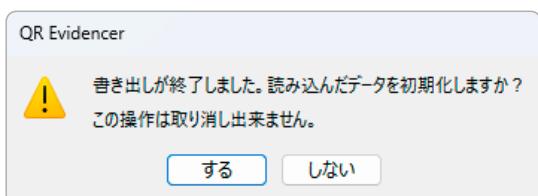
PDFの検査レポートを書き出す



1 検査レポート対象のPDFを読み込みます。[検査レポート形式] の [PDF] を選択し、[検査レポート書き出し] ボタンを押します。



2 検査レポートを保存する階層を選ぶと、読み込んだPDFのQRコードのチェック、および検査レポートの作成が始まります。

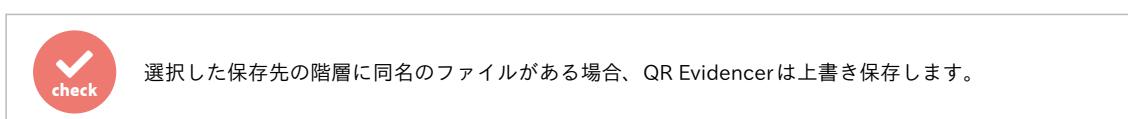


3 検査レポートの作成が終了すると、左記のダイアログが表示されます。[する]を選択すると読み込んだPDFを削除し、[しない]を選択した場合は読み込んだPDFはそのまま残ります。いずれかを選択してください。



保存先にデスクトップを選択
とフォルダが自動作成され、
フォルダ名は「日付_検証結
果」となる

4 PDFファイル、CSVファイルの検査レポートと、テキ
ストファイルのアクセスログが保存されます。





検査レポート（PDF）の【サイトイメージ】が取得できていない

検査レポート（PDF）の【サイトイメージ】は、QR Evidencerがリンク先のサーバーとやり取りし、ナビゲーションが完了した時点でのサムネール画像をレポートに表示します。その際、リンク先を表示するまでの待機時間が短すぎると、サイトによってはタイムアウトする場合があります。

検査レポート一部抜粋

取得できた例

QRコード番号	ページ	読み取りQRコード	タイトル	サイトイメージ
2	42	https://echointec.com/	ホーム エコインテック株式会社	

取得できなかつた例

QRコード番号	ページ	読み取りQRコード	タイトル	サイトイメージ
2	42	https://echointec.com/		画像が取得できませんでした

空白になった例

QRコード番号	ページ	読み取りQRコード	タイトル	サイトイメージ
2	42	https://echointec.com/		

この場合、環境設定ダイアログの【リンク取得時間を設定する】のチェックボックスにチェックを入れ、【秒】に任意の数字を入力して下さい。初期設定は「0秒」です。1～5秒を目安にお試し下さい。ただし、検出できたQRコードの数だけ待機時間が発生するため、検査レポートの作成時間が長くなります。

検査レポート

リンク取得時間を設定する 秒

環境設定一部抜粋
※チェックを入れない場合は「0秒」となる。

また、QR Evidencerがリンク先のWebサーバーとやり取りする際、サイトの内容やサーバー側の様々な状況によって取得できない場合もあります。

Excelの検査レポートについて

抽出したQRコードの内容を、Excel形式の一覧表として出力できます。

PDFの検査レポートと比較すると視覚的な分かりやすさは劣りますが、素早くデータを出力できるのが特長です。おもにURLの照合などを確認するだけで十分な場合に便利です。

この機能で検査レポートを書き出すと、Excelファイルのみが作成されます。

検査レポート（Excel）の例

① PDF名	② ページ番号	③ 読み取りQRコード	④ URLタイトル／ステータス
サービス案内	1	https://echointec.com/contents/ccs-system/bitmatch-premium/	BitMatch Premium PDF比較 デジタル検版用ソフト
サービス案内	1	https://echointec.com/contents/dtpsolution/catalog-2/	カタログ制作はエコーインテック
サービス案内	1	https://echointec.com/contents/ccs-system/db-plus/	低予算クラウド型DB+自動組版
サービス案内	1	https://echointec.com/contents/dtpsolution/floor-plan/	間取図作成サービス e-madori
サービス案内	1	https://echointec.com/contents/ccs-system/eds-2/	EDS ver 2.0
サービス案内	1	https://echointec.com/contents/dtpsolution/gakusan/	学習教材・DTP組版・数式組版

① PDF名

読み込んだPDFのファイル名

③ 読み取りQRコード

読み取ったQRコードの内容（URL）

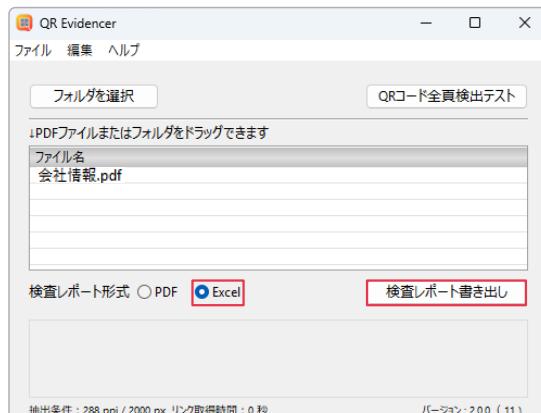
② ページ番号

PDFのページ番号

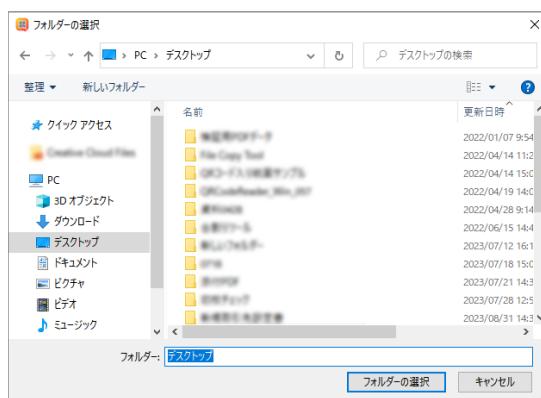
④ URLタイトル／ステータス

サイトのソースに記載されているtitleタグ

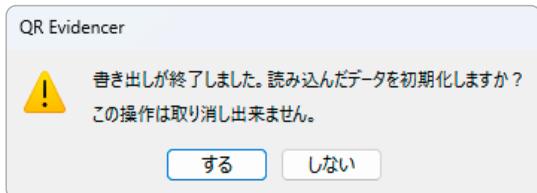
Excelの検査レポートを書き出す



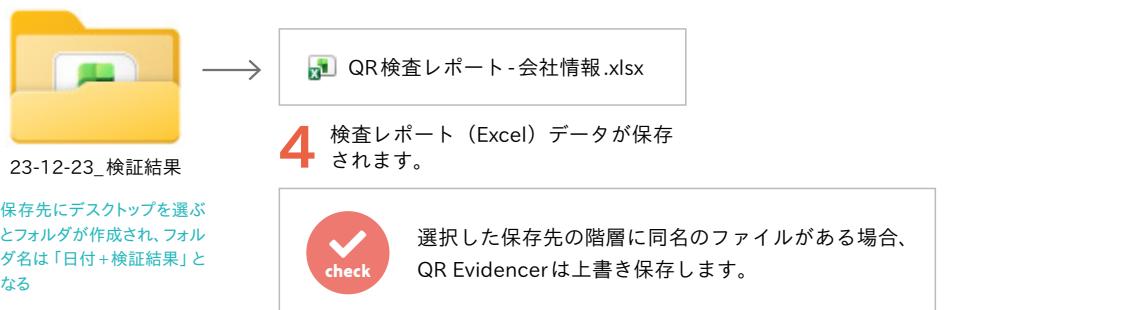
1 検査レポート対象のPDFを読み込みます。[検査レポート形式] の [Excel] を選択し、[検査レポート書き出し] ボタンを押します。



2 検査レポートを保存する階層を選ぶと、読み込んだPDFのQRコードのチェック、および検査レポートの作成が始まります。



3 検査レポートの作成が終了すると、左記のダイアログが表示されます。[する]を選択すると読み込んだPDFを削除し、[しない]を選択した場合は読み込んだPDFはそのまま残ります。いずれかを選択してください。



point 複数のPDFを読み込んでExcelの検査レポートを書き出すとExcelを1つにまとめるか、PDFファイル別に書き出すかを選択できます。

QR Evidencer

QRコード全頁検出テスト

PDFファイルまたはフォルダをドラッグできます

ファイル名
会社情報.pdf
サービス案内.pdf

検査レポート形式 PDF Excel

抽出条件 : 288 ppi / 2000 px リンク取得時間 : 0 秒 バージョン : 2.00 (11)

PDFを複数読み込んでExcelの検査レポートを書き出すと、上記ダイアログが表示されます。

[1ファイルに結合]

複数のPDFの検査結果を1つのExcelにまとめて書き出し書き出し例

QR検査レポート - 一覧表 -251202124616.xlsx

[ファイル別]

PDFのファイル別に、Excelをそれぞれ書き出し書き出し例

QR検査レポート - 会社情報.xlsx
QR検査レポート - サービス案内.xlsx

04

QRコード検出のコツと方法

ここでは、初期設定値のままでは自動検出できないQRコードを検出する方法を説明します。

QRコードが自動検出できない要因は?

- ・QRコードが汚れ・破損している
- ・QRコードの周囲に適切な余白がない
- ・QRコードが密集して複数配置されている
- ・QRコードが著しく縮小されて使用されている

など様々な要因があります。PDF内のQRコードを拡大して確認してみましょう。



低解像度でダウンサンプルされたQRコードの例

低解像度のQRコードでも自動検出できる場合もありますが、構造を読み取れないほど画像が劣化している場合は、自動検出はできません。

PDFに変換した後は、QRコードを拡大表示し、絵柄がぼやけていないかを確認してみて下さい。

全体的にかなりのダウンサンプルが見られるPDFの場合は、元のアプリケーションで「PDFの書き出し設定」を調整し、高解像度で再度PDFを書き出してみて下さい。PDF内のQRコードが鮮明になれば、自動検出できるQRコードの数が増やせます。

QRコードが上手く検出できない場合は

QRコードが検出ができなかった（[検出したQRコード] の [表示] で赤くマーキング表示されない）場合は、以下をお試しください。

解像度を上げてみる

QREvidencerは、PDFを取り込む際にラスタライズ（画像化）します。このときの解像度を上げることで、QRコードがより鮮明になり、検出しやすくなります。特に、小さい面積に多くの情報量が詰まっているQRコードが配置されている場合などに有効です。



① [取り込み解像度] に任意の数字を入力し、② [更新] を押します。その後、③ [検出したQRコード] を [表示] にして、該当のQRコードが赤くマーキングされるか確認して下さい。



[取り込み解像度] は概ね 288~400ppi 位の間が目安です。数値が大きいほど [検査レポート] の作成時間は長くなり、ご利用のPCのマシンパワーの消費も大きくなります。またマシンのスペックによっては、メモリアウトすることがあります。

QRコード検出グリットのマス目の大きさを変更する

QR EvidencerはPDF内のQRコードを検出する際に、グリットの1マス単位でPDF内を順に見ていき、QRコードを検出します。解像度をある程度上げても検出できないQRコードがある場合、QRコードの位置とグリットが干渉している場合があります。その際は【QRコード検出グリット】のピクセル値を少しずつ下げてテストをして下さい。



①【QRコード検出グリット】に任意の数字を入力し、②【更新】を押します。その後、③【検出したQRコード】を【表示】にして、該当のQRコードが赤くマーキングされるかを確認して下さい。

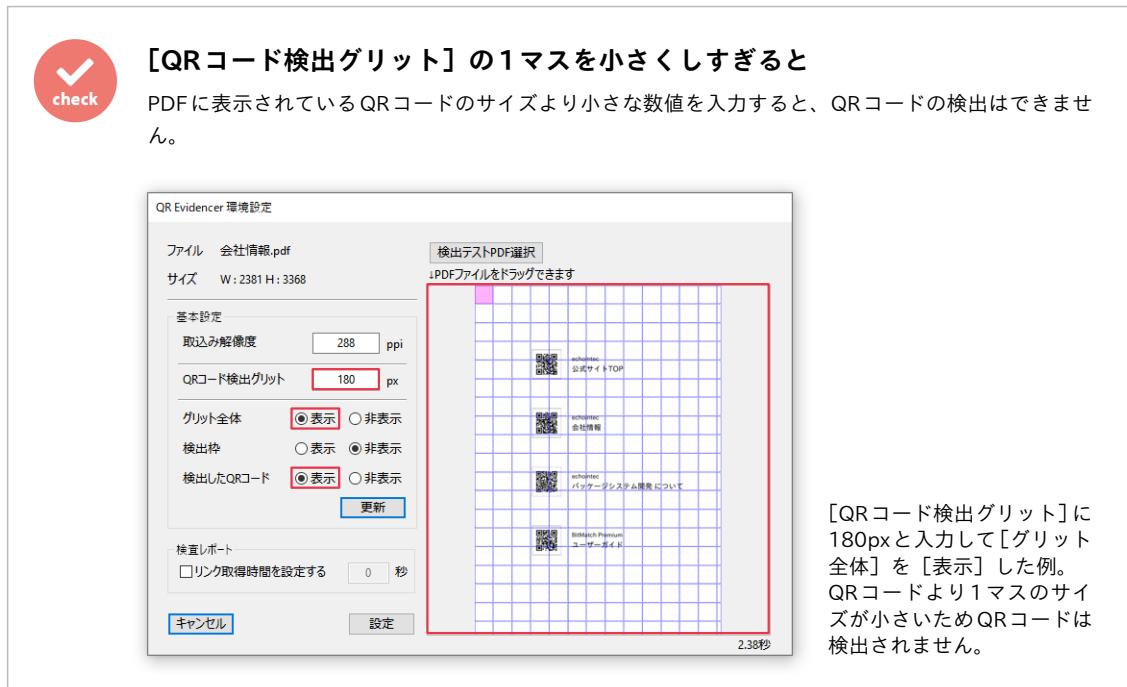


【QRコード検出グリット】は2000px→1800px→1600pxのように、徐々に下げる適切な数値を探るをお勧めします。数値が小さいほど【検査レポート】作成の時間は長くなり、ご利用のPCのマシンパワーの消費も大きくなります。初期設定は2000pxですが、QRコードの検出に問題がなく【検査レポート】作成の時間をより短縮したい場合は、これより大きい数値でも問題ありません。



【QRコード検出グリット】の1マスを小さくしすぎると

PDFに表示されているQRコードのサイズより小さな数値を入力すると、QRコードの検出はできません。



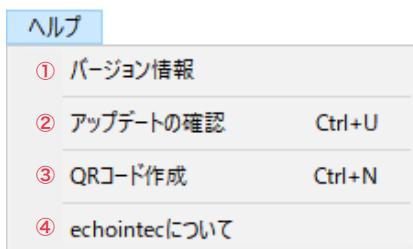
【QRコード検出グリット】に180pxと入力して【グリット全体】を【表示】した例。QRコードより1マスのサイズが小さいためQRコードは検出されません。

05

その他のメニュー

[ヘルプ] メニューについて

[ヘルプ] メニューからは、以下の情報を参照することができます。

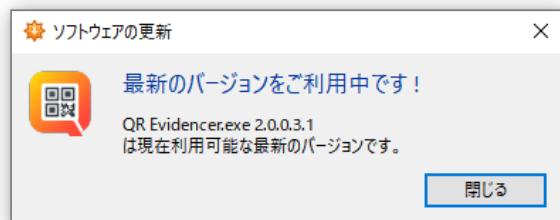


「QR Evidencer」を起動し、メニューバーの
[ヘルプ] から各項目を選択します。



①バージョン情報

現在お使いのバージョンと、ご利用のUSBドングルの [有効期限] が確認できます。



②アップデートの確認

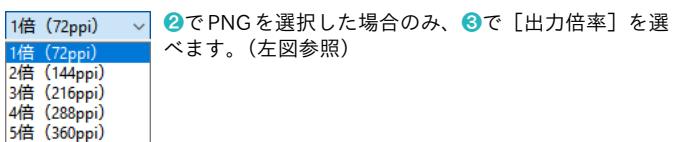
最新版をご利用中の場合は、上記のようなダイアログが表示されます。アップデートがある場合は、インストールダイアログが表示され、[アップデートをインストール] を選択するとアップデートできます。

※古いバージョンは上書きされます。



③QRコード作成

QRコードの作成ができます。①にQRコードに入れたいURLを入力し、②で任意のファイル形式を選択し、④でQRコード名を入力し、⑤でファイルを作成、保存します。



④echointecについて

当社のウェブサイトにジャンプします。
<https://echointec.com>

- ◎QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- ◎本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ◎本マニュアルの内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ◎本製品のデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。
- ◎本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承下さい。
- ◎本マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。